

令和4年度

姫路市の
予算のしくみ



令和4年3月
姫路市財政課

目次

基礎知識～予算ってなに？ P1

令和4年度予算編成のポイント P5

歳入 P6

歳出 P10

基金と市債 P15

資料編 P17

全国の中核市と比較してみた。



姫路市イメージキャラクター しろまるしめ

姫路城（白鷺城）を象徴する真っ白な肌。その名の通り、白くて丸くてもちもちしています。姫路城のボウシをかぶっています。そして姫路で最も盛り上がるのは春、お花見。ということで...桜の髪飾りを付けたお洒落さんです。柔軟で優しい性格。とっても可愛い女の子です。姫路特有のほっこりした温かさを表しています。

基礎知識 ～予算ってなに？～

Q 予算って何ですか？

A 予算とは、1年間の収入と支出を見積もることです。

新しい年度が始まる前に、1年間（4月から翌年3月まで）に行うべき事業の内容などを検討し、市に入る収入と行政サービスにかかる支出を見積もります。姫路市に入ってくるお金のことを「歳入」、使うお金のことを「歳出」と呼んでいます。姫路市の予算は、一般会計・特別会計・企業会計の3つに分類されます。

Q 予算はどうやって決まるの？

A 市長が予算案を作り市議会へ提出し、市議会の審議と議決によって予算が成立します。予算編成の主な流れは次のとおりです。

翌年度の予算を作るための方針を策定します。（～9月）

市役所の各部署が、市民の意見や地域の状況などを踏まえ、予算を見積もります。（10月）

各部署から出された案について、市政方針や事業の緊急性・優先度などを検討し予算案をまとめます。（10月下旬～2月上旬）

予算案を議会へ提出し、議会の審議・議決を経て、予算が成立します。（2月～3月）

Q 予定外のお金が必要になったときは？

A 予定外の支出に必要な予算を補正予算として見積もり、市議会へ提出します。

社会情勢の変化等により当初見積もった経費に見直しが必要になった場合には、変更する予算案をつくり、市議会へ提出します。最初に決める一年間の予算を「当初予算」、年度の途中に変更した予算を「補正予算」といいます。

Q 令和4年度の姫路市の予算は？

A 一般会計、特別会計、公営企業会計の当初予算の総額は**3,875億3,500万円**で、前年度と比較すると9億1,500万円、0.2%の増で、過去6番目の規模となっています。

一般会計
2,178億円

教育や福祉、公共施設の整備、市役所の運営など、市民の皆さんに身近なものに使われる予算です。皆さんが収めた市税は一般会計に使われています。

特別会計
1,108億8,500万円

市の行っている事業のうち、特定の目的や収入があるものについては、一般会計と分けて「特別会計」とし、事業ごとの収支を明確にしています。姫路市には国民健康保険や介護保険など7つの特別会計があります。

企業会計
588億5,000万円

「公営企業」として一般会計から独立し、民間の企業と同じ会計方法で事業ごとに収益をあげて運営しています。水道事業、都市開発整備事業、下水道事業の3つの企業会計があります。

※予算額は100万円単位で四捨五入しています。

◆令和4年度当初予算総額及び前年度比

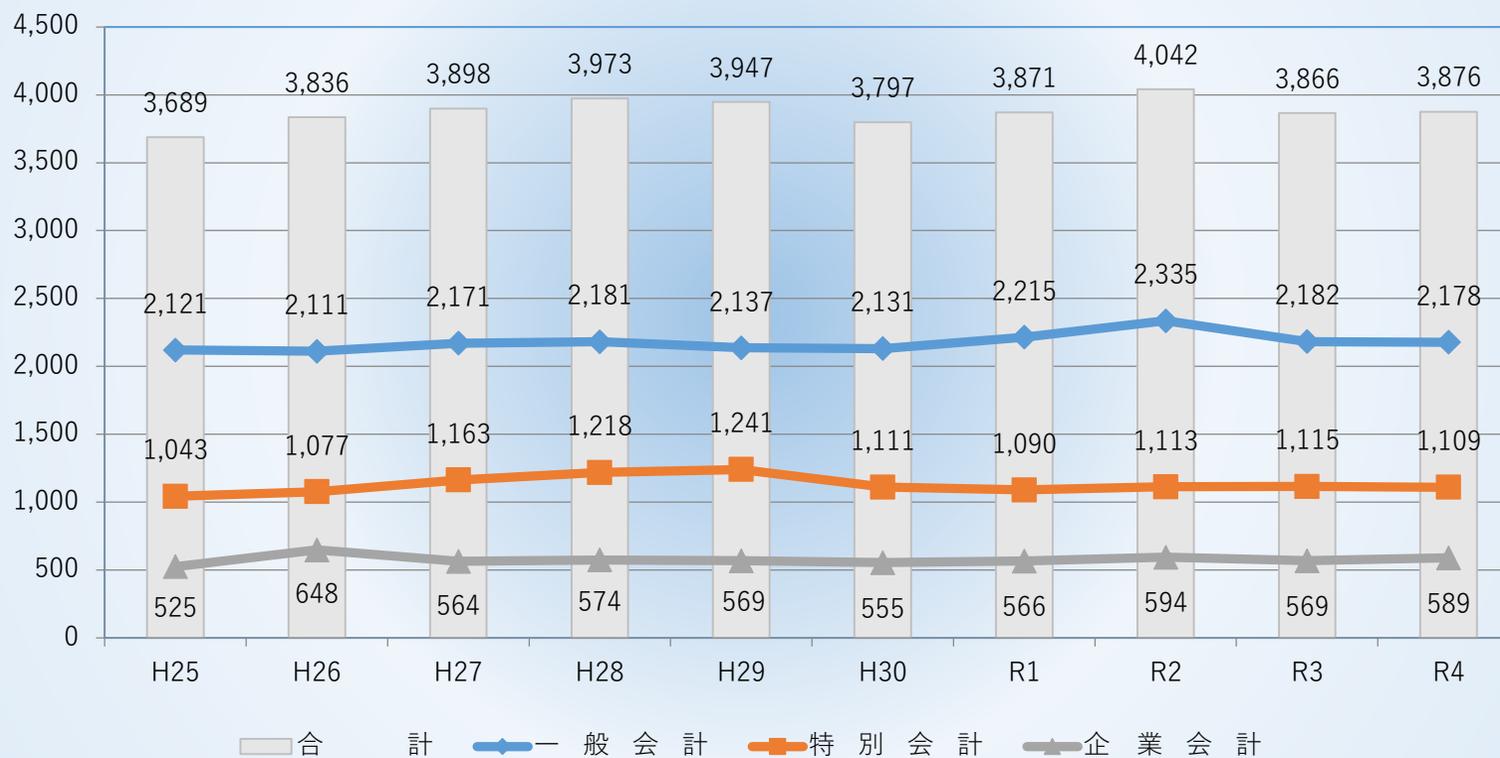
会計名	4年度予算	3年度予算	増減	伸率
一般会計	2,178億円	2,182億円	△4億円	△0.2%

特別会計	会計名	4年度予算	3年度予算	増減	伸率
	卸売市場事業	16億2,700万円	11億5,300万円	4億7,400万円	41.0%
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1億500万円	7,200万円	3,300万円	46.7%
	国民健康保険事業	539億3,300万円	548億1,300万円	△8億8,000万円	△1.6%
	介護保険事業	463億8,300万円	466億5,200万円	△2億6,900万円	△0.6%
	後期高齢者医療事業	83億3,800万円	83億900万円	2,900万円	0.4%
	奨学学術振興事業	2,800万円	2,800万円	0万円	△3.0%
	財政健全化調整	4億7,100万円	4億6,000万円	1,100万円	2.3%
	合計	1,108億8,500万円	1,114億8,700万円	△6億200万円	△0.5%

企業会計	会計名	4年度予算	3年度予算	増減	伸率
	水道事業	182億8,400万円	175億8,500万円	6億9,900万円	4.0%
	都市開発整備事業	3億300万円	3億1,300万円	△1,000万円	△3.2%
	下水道事業	402億6,300万円	390億3,500万円	12億2,800万円	3.1%
合計	588億5,000万円	569億3,300万円	19億1,700万円	3.4%	

参考 姫路市の予算額の推移

(単位：億円)



令和4年度予算編成のポイント

新たな総合計画の目指す都市像「ともに生き ともに輝く にぎわい交流拠点都市 姫路」のもと、**4つの最優先課題**の解決に向け、集中的に事業を展開するとともに、「命」「一生」「くらし」の3つのLIFEを守り、支えるための**7つの重点施策**に重点的に予算を配分しています。

4つの
最優先課題

未来を育てる「ひとづくり改革」

- 出会いから結婚、妊娠・出産期の支援
- 幼児期の支援 ■ 学齢期からの支援

生活の質を高める「デジタル改革」

- 行政のデジタル化の加速 ■ 地域社会のデジタル化
- マイナンバーカードの普及・利用促進

成長を促す「グリーン改革」

- ゼロカーボンシティの推進
- ESGの普及に向けた取り組みの推進 ■ 森林環境の保全

発展を支える「まちづくり改革」

- にぎわいと感動にあふれるまちづくり ■ ひめじ創生SDGsの推進
- 新県立病院の開院 ■ 手柄山中央公園の再整備 ■ 広域交通網の整備

7つの
重点施策

命を守る安全安心体制の充実

- 新型コロナウイルス感染症と新たな感染症への対策
- 地域医療提供体制の充実 ■ 防災力の強化

命輝く健康福祉社会の実現

- 生涯にわたり健康に過ごせる社会の実現
- 誰もがいきいきと生きられる社会の実現

躍動する地域づくりの推進

- 市民協働の地域づくり ■ 周辺地域の活性化の推進
- 東京一極集中の打破

安心して一生くらす社会の実現

- あらゆる市民が働きやすい環境の充実 ■ 多様性を認め合う社会の実現
- 循環型社会の実現 ■ 姫路地域強靱化の推進 ■ 持続可能な上下水道経営

くらしを豊かにする観光・産業の振興

- アフターコロナを見据えた観光戦略の展開
- 地域産業の活力増進 ■ 中央卸売市場の移転再整備

くらしを充実させるスポーツ・文化の振興

- 「する」「みる」「ささえる」スポーツの推進
- 文化芸術の振興

都市の価値を高める基盤整備の推進

- 公共施設・インフラ等の計画的な保全・整備
- 行財政の効率化の推進

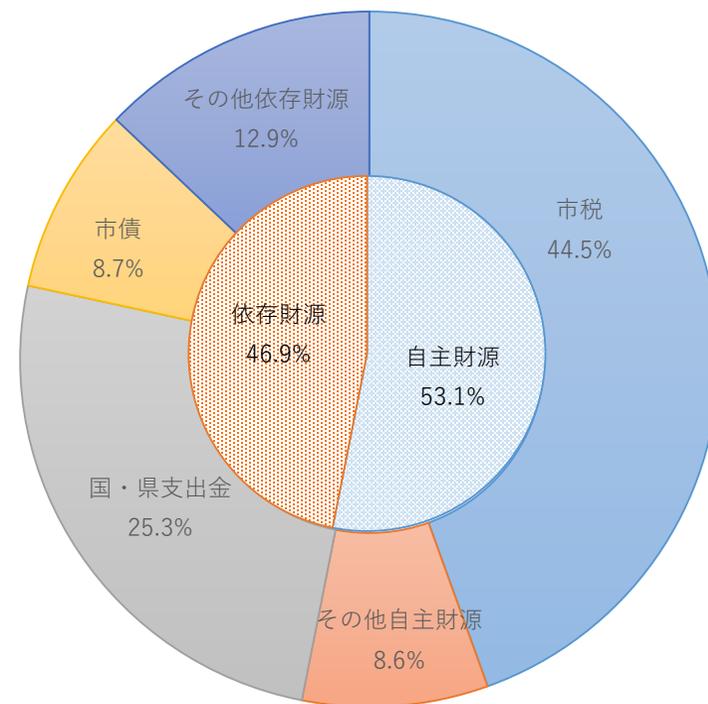
歳入

Q 令和4年度の一般会計の歳入は？

A 一般会計の歳入には、市税や国・県からの支出金、銀行からの借入れや施設の使用料などがあります。

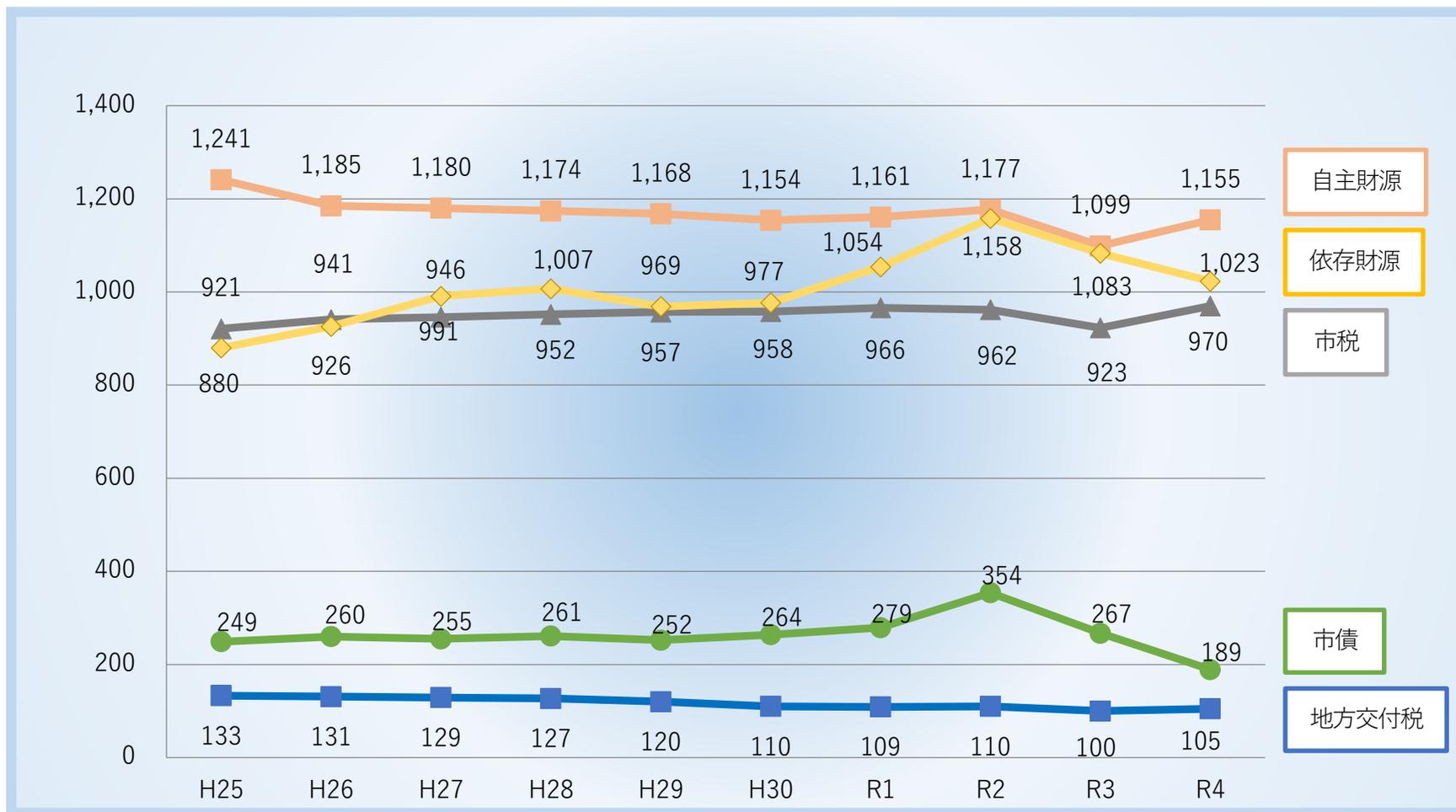
◆一般会計歳入予算

項目		説明	予算額
自主財源	市税	皆さんに納めていただく税金です。	970億円
	分担金及び負担金	事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて負担をしていただくお金です。	9億6,600万円
	使用料及び手数料	施設の利用や証明書の発行の際に支払っていただく料金です。	53億2,900万円
	繰入金	各種基金（市の貯金）を取り崩して使うお金です。	42億4,700万円
	その他	寄付金、不動産売払などの財産収入、前年度からの繰越金などです。	79億8,300万円
依存財源	国・県支出金	国（県）から特定の事務事業に対して交付されるものです。	550億6,800万円
	市債	銀行などからの借入（借金）です。	188億8,800万円
	地方交付税	皆さんが国に納めた税金の一部で、地方公共団体の財政状況などに応じて配分されます。	105億円
	譲与税・交付金	地方消費税交付金など、皆さんが国に納めた税金の一部が譲与・交付されるものです。	178億1,900万円
合 計			2,178億円



自主財源とは市が自主的に収入できる市税や分担金、負担金、手数料などです。**依存財源**とは国や県から交付されたり割り当てられたりする財源や市債などです。

自主財源の割合が高いほど、自主的・安定的な行政サービスを行うことができます。

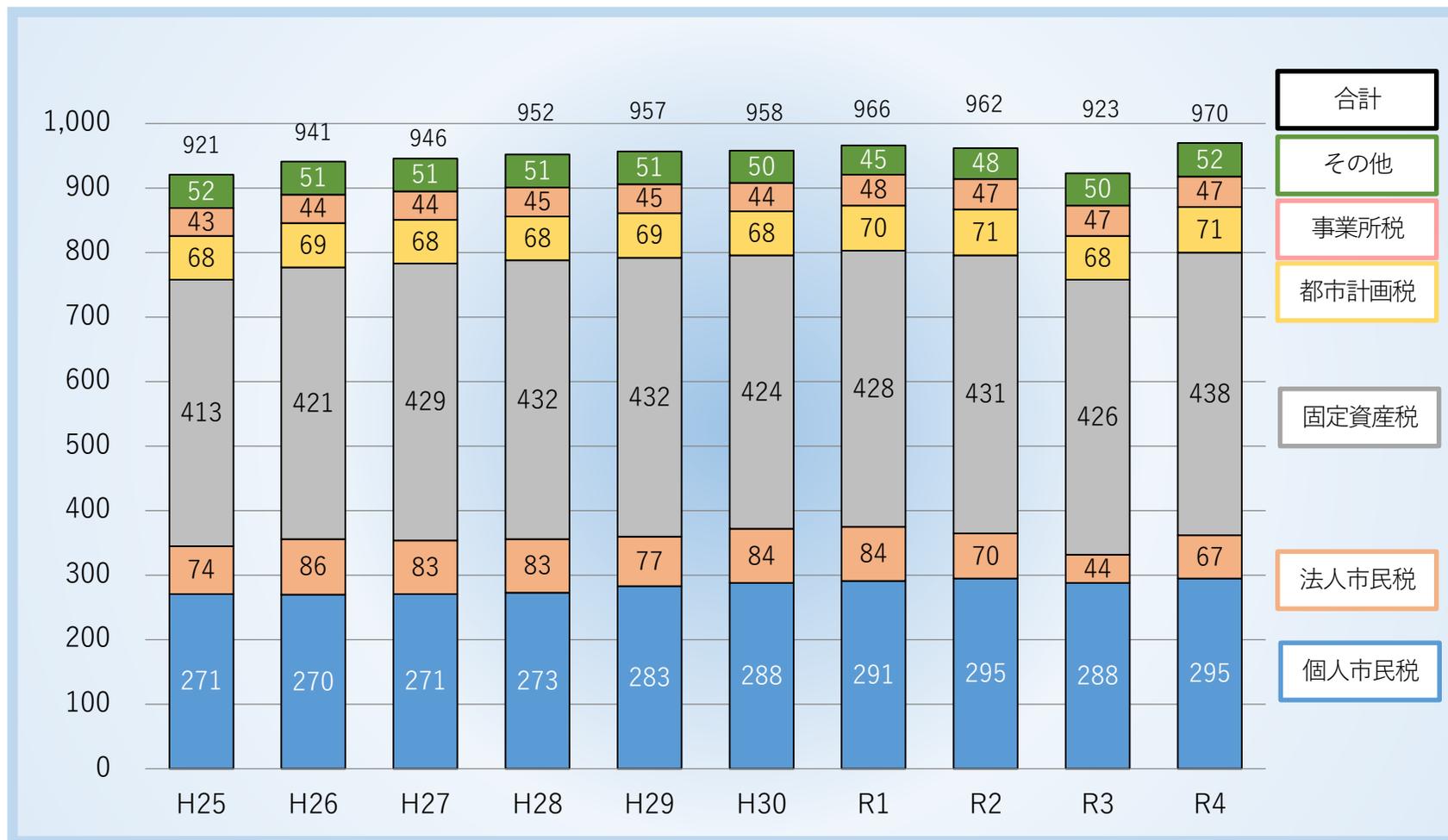
参考
一般会計歳入予算の推移


Q 市税にはどのようなものがありますか？

A 姫路市に入る市税は次のとおりです。
 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症からの経済活動の回復に伴い、給与所得・企業収益の増等による個人市民税・法人市民税の増に加え、家屋の新增築の増等に伴い、固定資産税・都市計画税の増を見込んでいます。市税全体では、前年度と比べると47億円の増収を見込んでいます。

税 目	説 明	予算額
個人市民税	市民の方が給与などの所得に応じて納める税のことで。	294億8,900万円
法人市民税	姫路市内の会社が収益などに応じて納める税のことで。	67億4,600万円
固定資産税	土地や家屋などを所有している方が納める税のことで。	438億2,100万円
軽自動車税	軽自動車などを持っている方が納める税のことで。	15億2,400万円
市たばこ税	たばこを買った方が納める税のことで。	36億1,800万円
入湯税	鉱泉浴場における入湯に対して入湯客が納める税のことで。	3,200万円
事業所税	市内の一定規模以上の会社が納める税のことで。	47億300万円
都市計画税	市街化区域に土地や建物を持っている方が納める税のことで。	70億6,700万円
合 計		970億円

参考 主な市税収入の推移



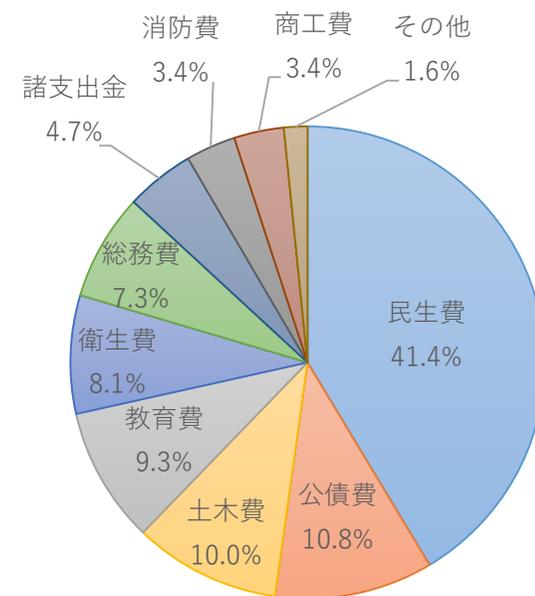
歳出

Q どんな分野の歳出がありますか？

A 一般会計の歳出はその行政目的によって、民生費、土木費、教育費などの分野に分けて支出します。令和4年度は、市役所北別館大規模改修完了などにより総務費が減少する一方で、地域経済対策などにより商工費が増加しています。

◆一般会計歳出予算（目的別）

項目	説明	予算額
議会費	市議会の運営に必要な経費です。	10億2,000万円
総務費	庁舎や財産の維持管理、戸籍管理、税金の収納などの経費です。	160億2,500万円
民生費	社会福祉や児童福祉などの経費です。	901億7,800万円
衛生費	医療や環境保全などの経費です。	175億8,300万円
労働費	勤労者などの支援のための経費です。	3億800万円
農林水産業費	農林水産業の振興や農林整備などの経費です。	20億7,100万円
商工費	商工業や観光の振興などの経費です。	73億3,100万円
土木費	道路や河川、公園などを整備するための経費です。	218億2,900万円
消防費	消防や火災予防などの災害対策のための経費です。	73億3,300万円
教育費	学校教育やスポーツ振興などの経費です。	202億1,600万円
公債費	市債（借金）やその利子を支払うための経費です。	235億4,100万円
諸支出金	他の支出科目に含まれない経費です。	101億6,500万円
予備費	緊急の支出に充てるために必要な経費です。	2億円
合 計		2,178億円



Q 歳出を性質別に分けるとどうなりますか？

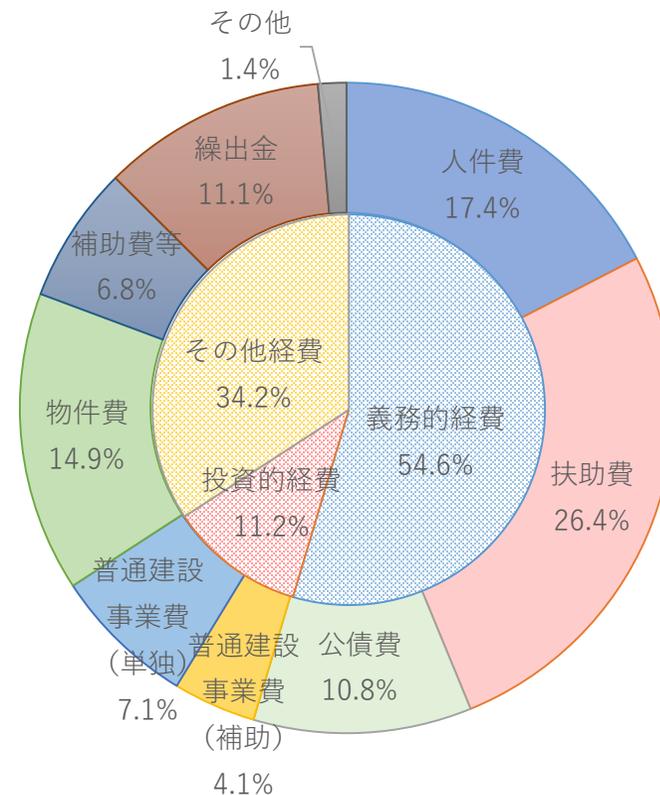
A 歳出を人件費、扶助費、普通建設事業費など、支出の性質により区分することで、姫路市の現在の状況を知ることができます。

必ず支出しなければならない人件費、扶助費、公債費は義務的経費と言い、これらの経費の予算に占める割合が大きくなると財政構造が硬直化し、新たな財政需要への対応が困難になります。

令和4年度は投資的経費が減少した一方、義務的経費は金額・比率とも過去最高となっています。

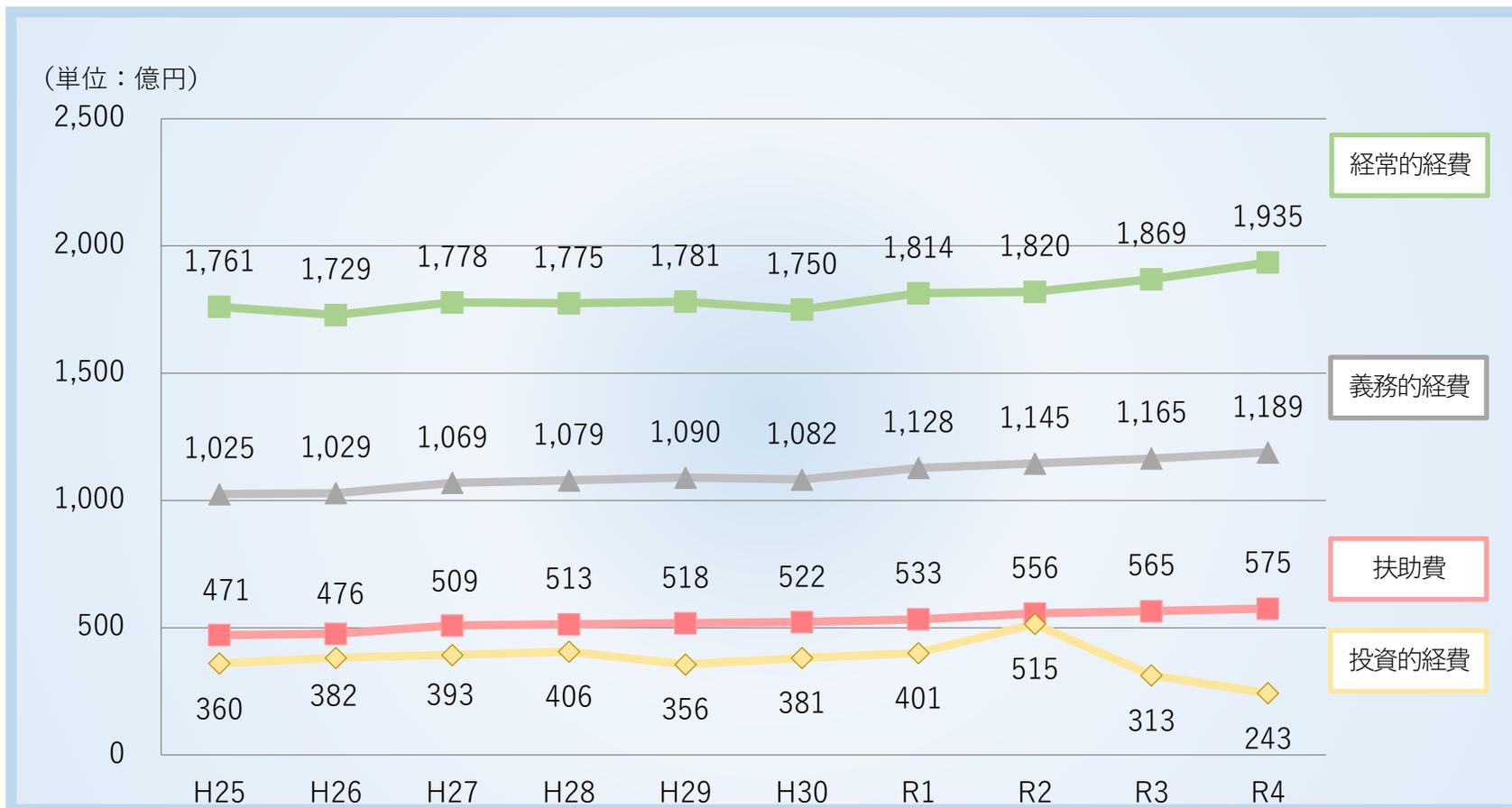
◆一般会計歳出予算（性質別）

義務的経費	1,189億3,800万円	
人件費	378億7,700万円	人件費、扶助費、公債費を「義務的経費」といいます。これらの費用は毎年必ず支出しなければなりません。
扶助費	575億2,400万円	
公債費	235億3,700万円	
投資的経費	243億4,700万円	
普通建設事業費（補助）	89億1,100万円	道路や学校などの建設や大規模改修など都市基盤の整備にかかる費用です。
普通建設事業費（単独）	154億3,600万円	
その他の経費	745億1,500万円	
物件費	325億6,700万円	光熱水費や消耗品費などを含む物件費、施設の維持管理のための維持補修費などがあります。繰出金は一般会計から特別会計などへ支出する経費です。
維持補修費	14億3,100万円	
補助費等	148億2,600万円	
貸付金	10億1,100万円	
積立金	1億6,300万円	
繰出金	243億1,700万円	
予備費	2億円	



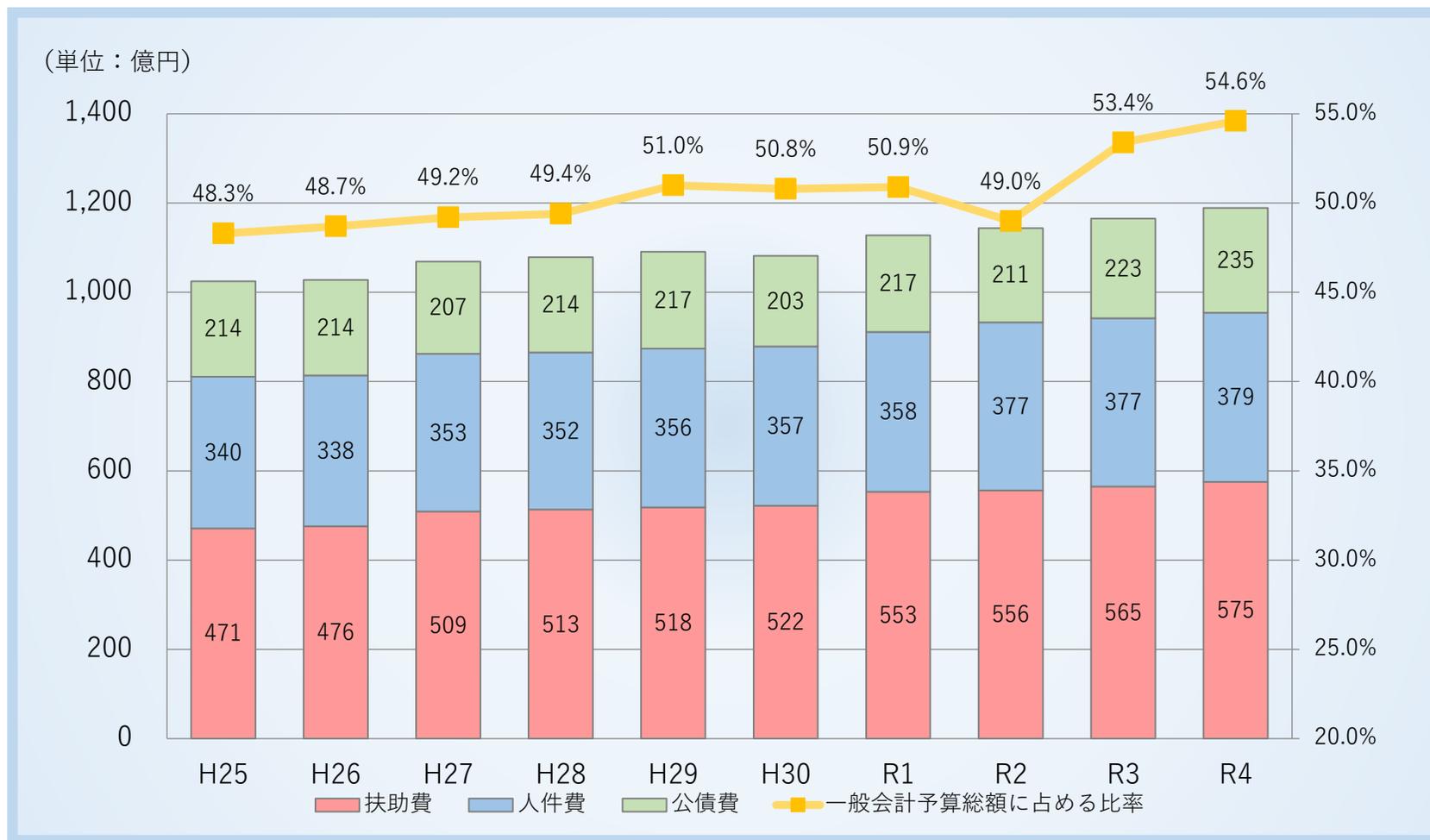
参考

一般会計歳出予算（性質別）の推移



性質別歳出は**経常的経費**（毎年度連続して固定的に支出される経費）と**投資的経費**に分けられます。
 経常的経費のうち支出が義務づけられ、任意に削減することができない経費を**義務的経費**といいます。

参考 義務的経費の推移



Q 市民1人あたり、いくら使われていますか？

A 姫路市の一般会計予算額2,178億円を市民1人あたりに換算すると約41万円になります。これらは、子育て支援や福祉、まちづくり、教育、ごみ処理、消防といったさまざまな分野に使われています。

市民1人あたり 予算額合計 410,265円

①社会福祉、子育てや生活扶助などに（民生費）



169,866円 (+4,653円)

②道路、公園、住宅の建設・管理などに（土木費）



41,119円 (△1,854円)

③学校、幼稚園、社会教育などに（教育費）



38,081円 (△3,493円)

④市債やその利子などの支払いに（公債費）



44,344円 (+2,672円)

⑤市役所の管理運営、広報などに（総務費）



30,187円 (△3,093円)

⑥保健衛生やごみ・し尿の処理などに（衛生費）



33,121円 (+3,117円)

⑦商業や工業、観光の振興などに（商工費）



13,809円 (+2,056円)

⑧その他の目的に（消防費、農林水産業費等）



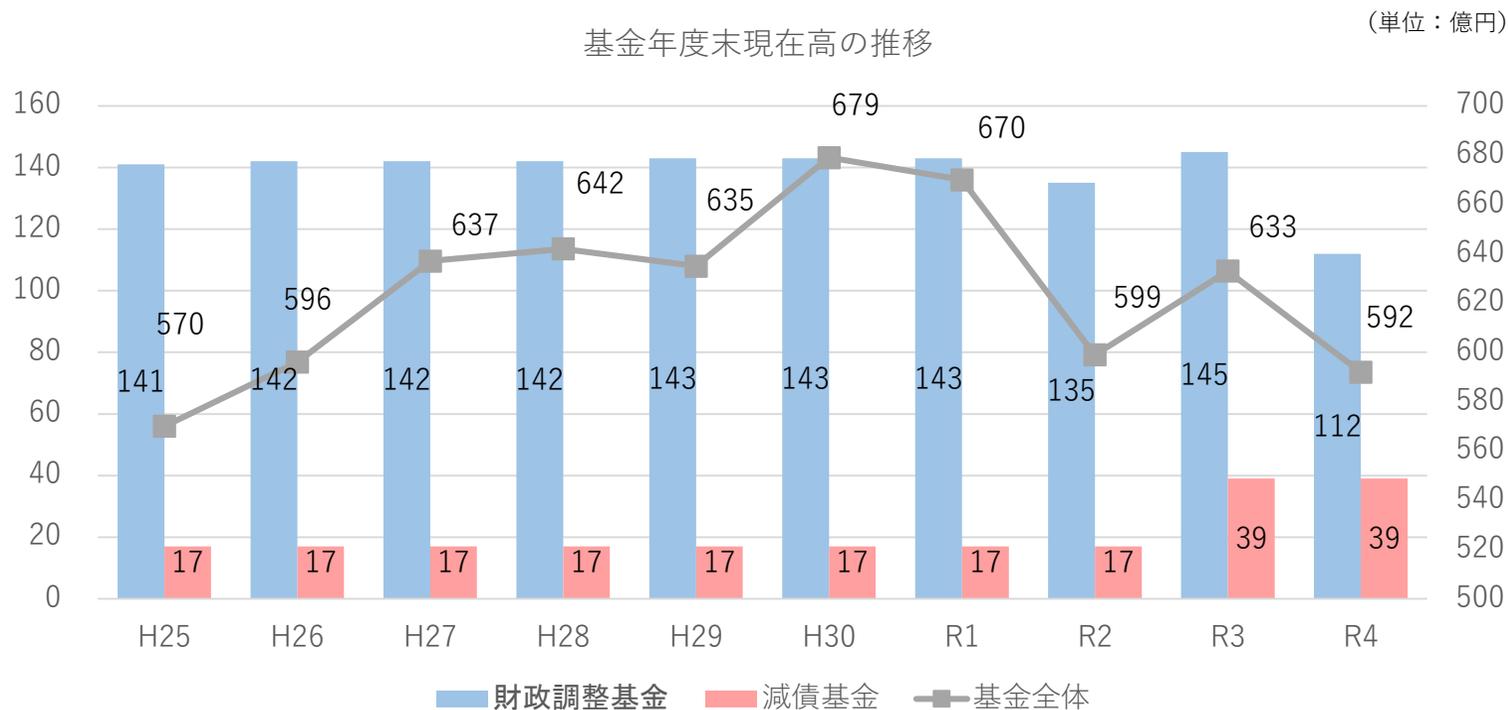
39,738円 (△2,310円)

※()内は、前年度からの増減額です。なお、1人あたりの数値は令和4年1月1日現在の人口530,877人を基礎としています。

基金と市債

Q 姫路市の基金（貯金）は？

A 基金は特定の目的のために資金を積み立てる特定目的基金（18基金）と定額の資金を運用するための定額運用基金（2基金）を設けています。
 姫路市の全会計基金残高（令和4年度末見込）は591億5,600万円で、前年度と比べると41億2,000万円の減となっています。これは収支不足に対する財源措置として財政調整基金の取り崩しなどを行うためです。

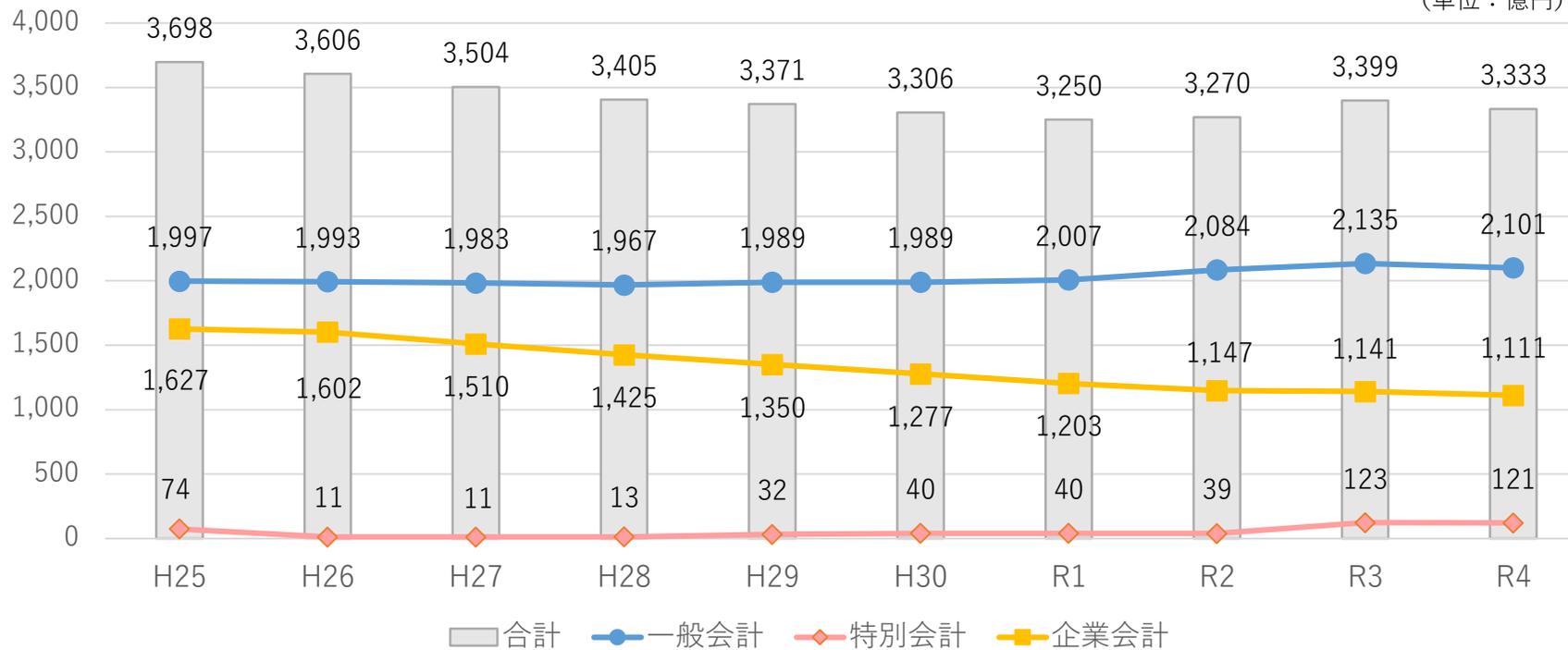


Q 姫路市の市債（借金）は？

A 全会計の市債残高（令和4年度末見込）は3,333億2,000万円で、前年度と比べると65億4,000万円の減になっています。
 これは、一般会計における臨時財政対策債の減や、合併特例債の償還が進んだことなどによるものです。

会計別地方債年度末現在高の推移

（単位：億円）



【資料編】

全国の中核市と比較してみた。

令和4年度（2022年度）の姫路市の一般会計予算について、

市民一人あたりの金額が、全国の中核市62市の中でどのくらいの順位なのか、比較してみました。

次ページから、主な項目について他の中核市と比較することで姫路市の状況を確認していきます。

資料編の作成にあたっては、

- 令和4年度予算額は中核市市長会資料（令和4年3月現在）による速報値を使用しています。（久留米市は暫定予算額ベース）
- 人口は令和4年1月1日現在の住民基本台帳人口を採用しています。（姫路市：530,877人）
- 数値は表示単位の小数点以下を四捨五入をしています。
- 一般会計とは教育や福祉、公共施設の整備、市役所の運営など、市民の皆様にとって身近なことに使われる予算のことです。

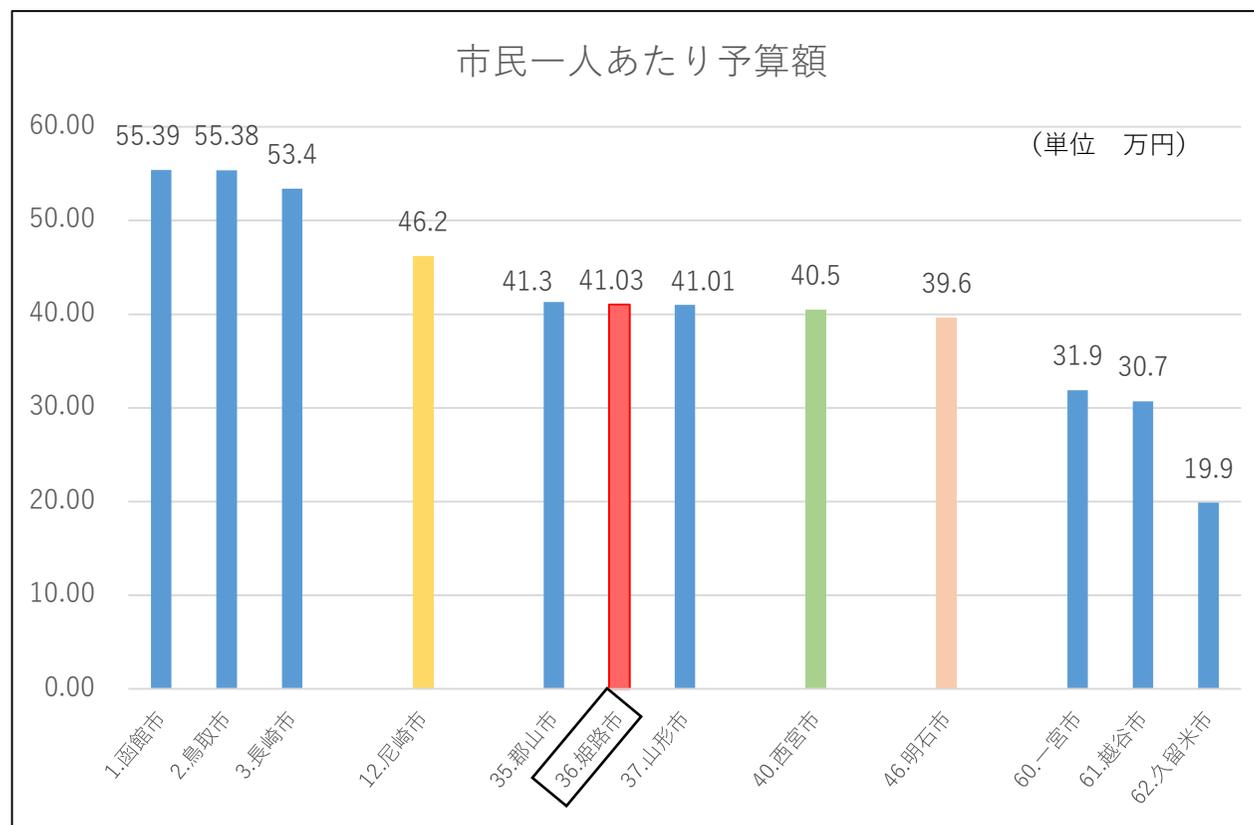
市民一人あたり 予算額

令和4年度（2022年度）の姫路市予算（一般会計）の市民一人あたりの金額は**約41万300円**です。

中核市62市の中では**第36位**となっており、平均的な水準となっています。

一般会計予算額

1位	函館市	55万3,900円
2位	鳥取市	55万3,800円
3位	長崎市	53万4千円
12位	尼崎市	46万2千円
36位	姫路市	41万300円
40位	西宮市	40万5千円
46位	明石市	39万6千円
60位	一宮市	31万9千円
61位	越谷市	30万7千円
62位	久留米市	19万9千円



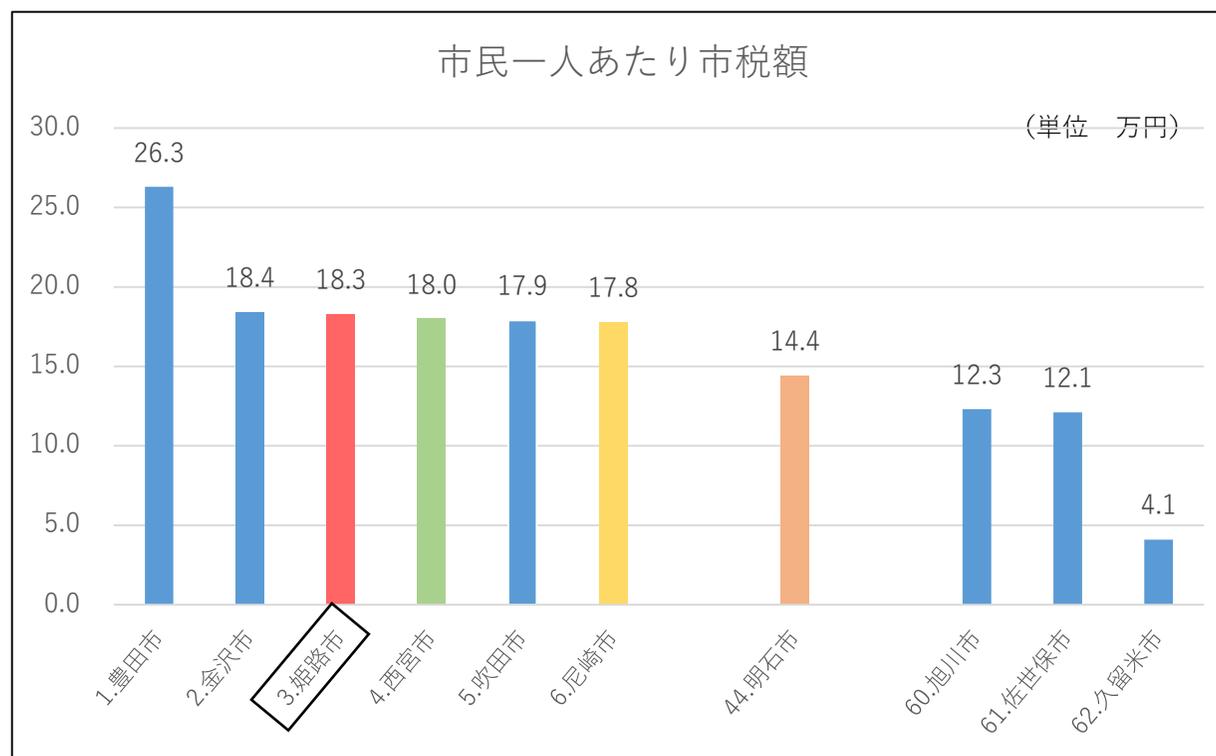
市民一人あたり歳入 市税

市税は、市民税（個人・法人）、固定資産税（土地・家屋・償却資産）、軽自動車税、市たばこ税などがあります。

令和4年度の市税の市民一人あたりの金額は**約18万3千円**で、中核市62市中**第3位**となっています。

海岸部の製造業をはじめとする会社への償却資産に対する課税が多いことが特徴です。

市税予算額		
1位	豊田市	26万3千円
2位	金沢市	18万4千円
3位	姫路市	18万3千円
4位	西宮市	18万円
5位	吹田市	17万9千円
6位	尼崎市	17万8千円
44位	明石市	14万4千円
60位	旭川市	12万3千円
61位	佐世保市	12万1千円
62位	久留米市	4万1千円



市民一人あたり歳入 地方交付税

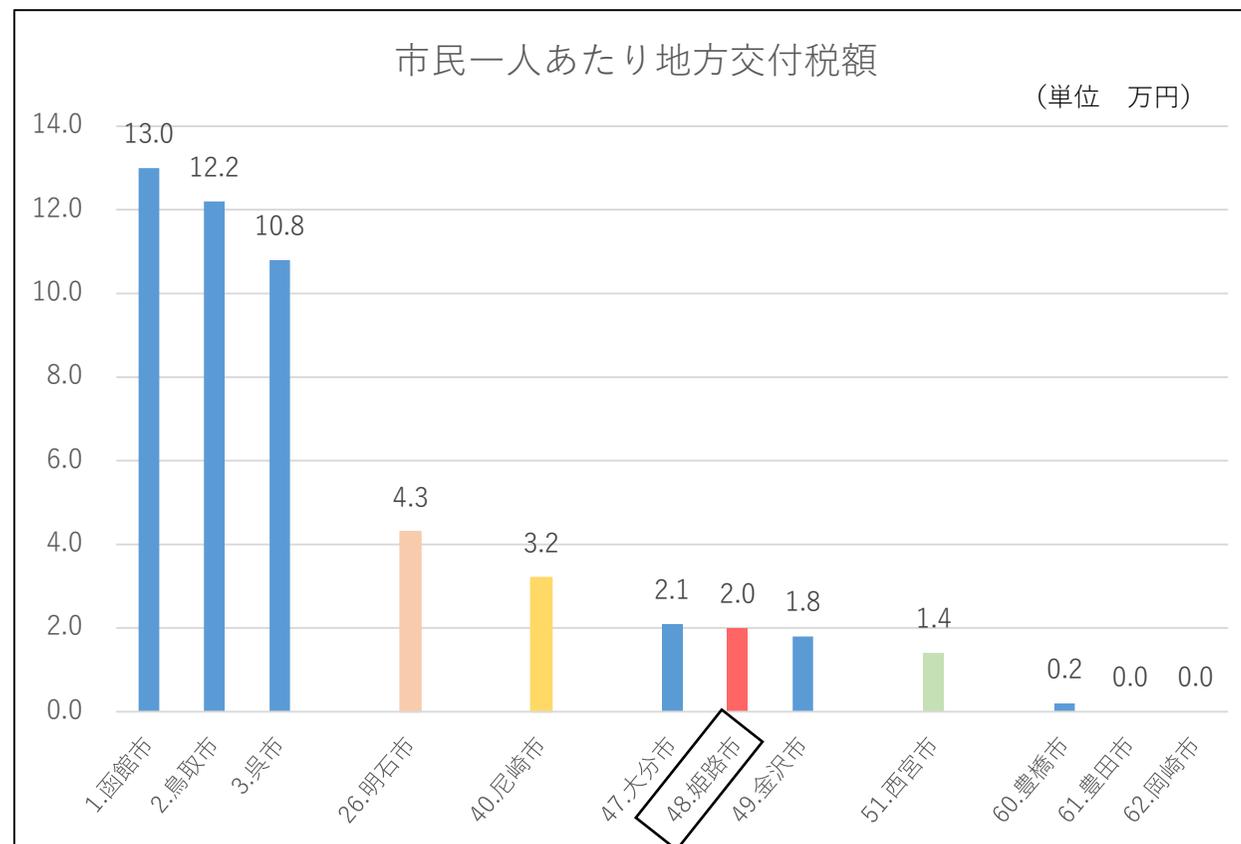
普通交付税は、全国的に一定の行政サービスを提供するため、市税の豊かな市には少なく、市税の少ない市には多く交付される仕組みです。

特別交付税は、災害対応など臨時的な支出に対して交付されます。

令和4年度の地方交付税の市民一人あたりの金額は**約2万円**となっており、中核市62市中**第48位**で、平均よりも低い水準となっています。

地方交付税予算額

1位	函館市	13万円
2位	鳥取市	12万2千円
3位	呉市	10万8千円
26位	明石市	4万3千円
40位	尼崎市	3万2千円
48位	姫路市	2万円
51位	西宮市	1万4千円
60位	豊橋市	2千円
61位	豊田市	0円
62位	岡崎市	0円



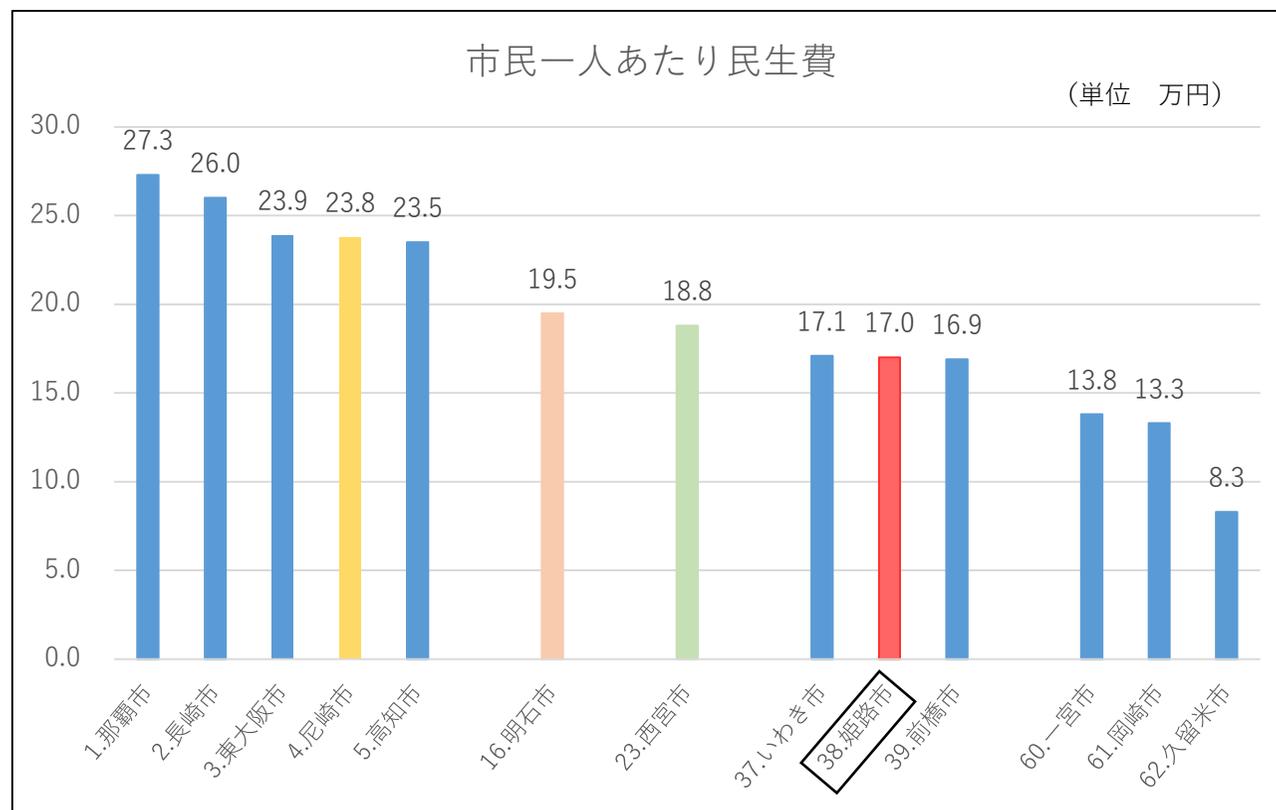
市民一人あたり歳出
(目的別分類)
民生費

一般会計の歳出はその行政目的によって、民生費、土木費、教育費などに分類されます。(目的別分類)

民生費とは、障害者や高齢者の福祉サービス、子育て支援、保育所、生活保護などの経費です。

令和4年度の姫路市の市民一人あたりの民生費は**約17万円**となっており、中核市62市中**第38位**で、平均よりやや低い水準となっています。

民生費予算額		
1位	那覇市	27万3千円
2位	長崎市	26万円
3位	東大阪市	23万9千円
4位	尼崎市	23万8千円
5位	高知市	23万5千円
16位	明石市	19万5千円
23位	西宮市	18万8千円
38位	姫路市	17万円
60位	一宮市	13万8千円
61位	岡崎市	13万3千円
62位	久留米市	8万3千円

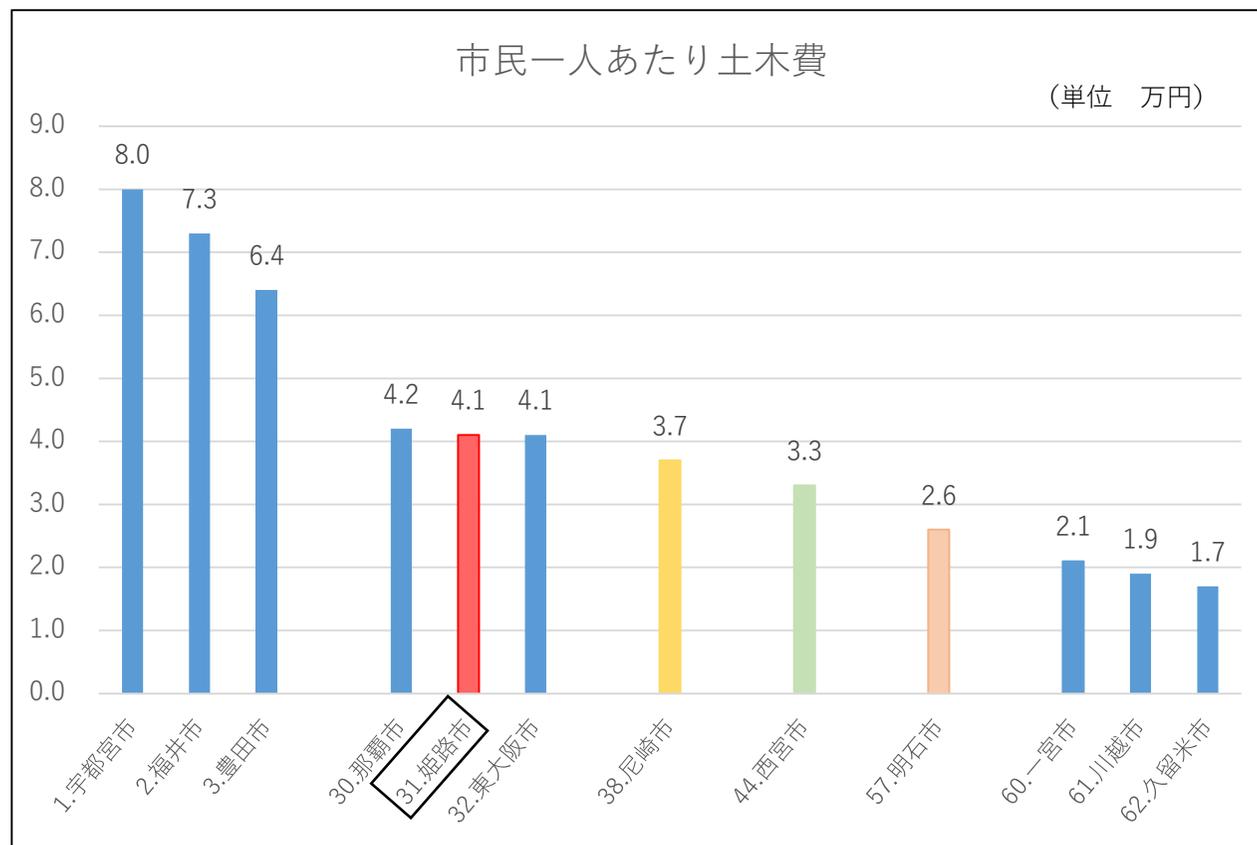


市民一人あたり歳出
(目的別分類)
土木費

土木費とは、道路や河川、公園などを整備するための経費です。
令和4年度の姫路市の市民一人あたりの土木費は**約4万1千円**となっており、中核市62市中**第31位**で、平均的な水準となっています。

土木費予算額

1位	宇都宮市	8万円
2位	福井市	7万3千円
3位	豊田市	6万4千円
31位	姫路市	4万1千円
38位	尼崎市	3万7千円
44位	西宮市	3万3千円
57位	明石市	2万6千円
60位	一宮市	2万1千円
61位	川越市	1万9千円
62位	久留米市	1万7千円



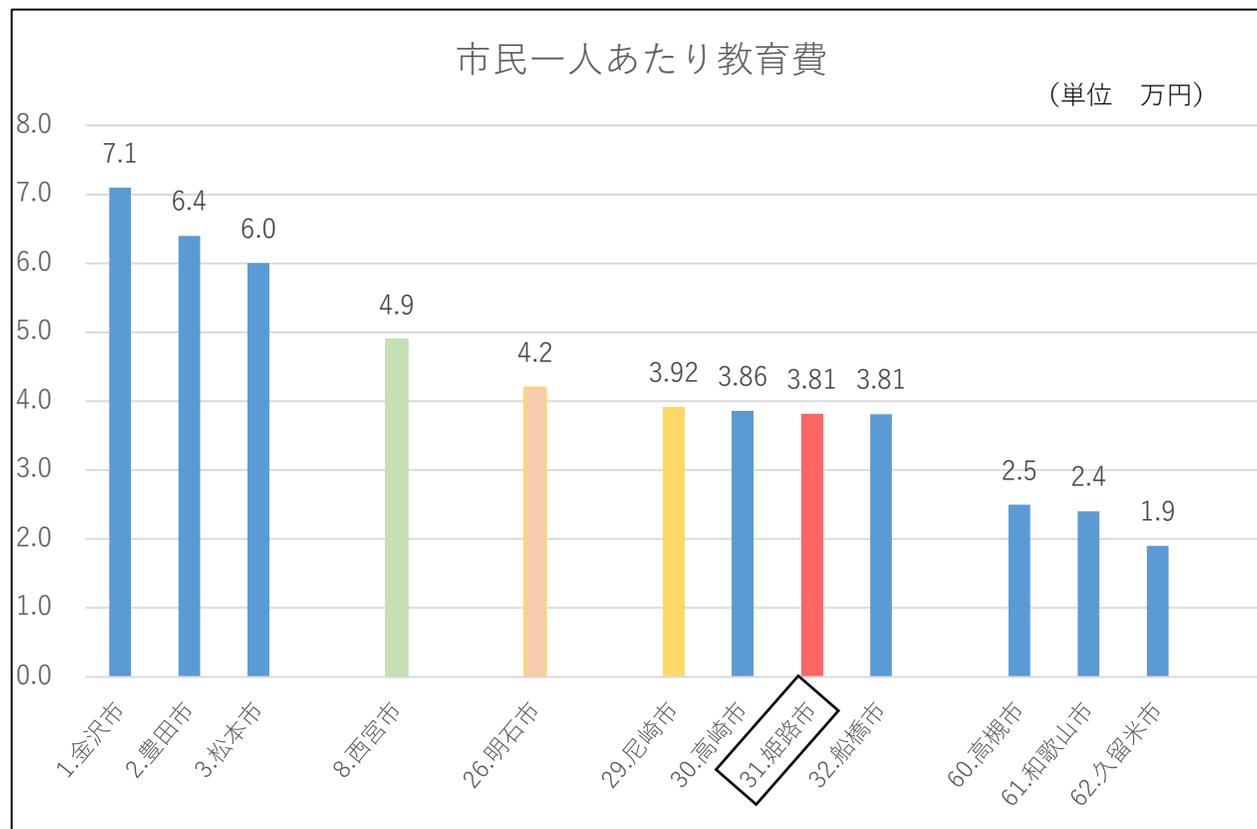
市民一人あたり歳出 (目的別分類) 教育費

教育費予算額

1位	金沢市	7万1千円
2位	豊田市	6万4千円
3位	松本市	6万円
8位	西宮市	4万9千円
26位	明石市	4万2千円
29位	尼崎市	3万9,200円
31位	姫路市	3万8,100円
60位	高槻市	2万5千円
61位	和歌山市	2万4千円
62位	久留米市	1万9千円

教育費とは、学校教育やスポーツ振興などの経費です。

令和4年度の姫路市の市民一人あたりの教育費は**約3万8,100円**となり、中核市62市中**第31位**で、平均的な水準となっています。



市民一人あたり歳出
(性質別分類)
義務的経費

歳出を人件費、扶助費、普通建設事業費など、支出の性質により区分することができます。(性質別分類)

義務的経費とは性質別分類のうち、その支出が義務付けられ、任意に削減することができない人件費、扶助費、公債費のことです。

令和4年度の姫路市の市民一人あたりの義務的経費は**約22万4千円**となっており、中核市62市中**第29位**で、平均的な水準となっています。

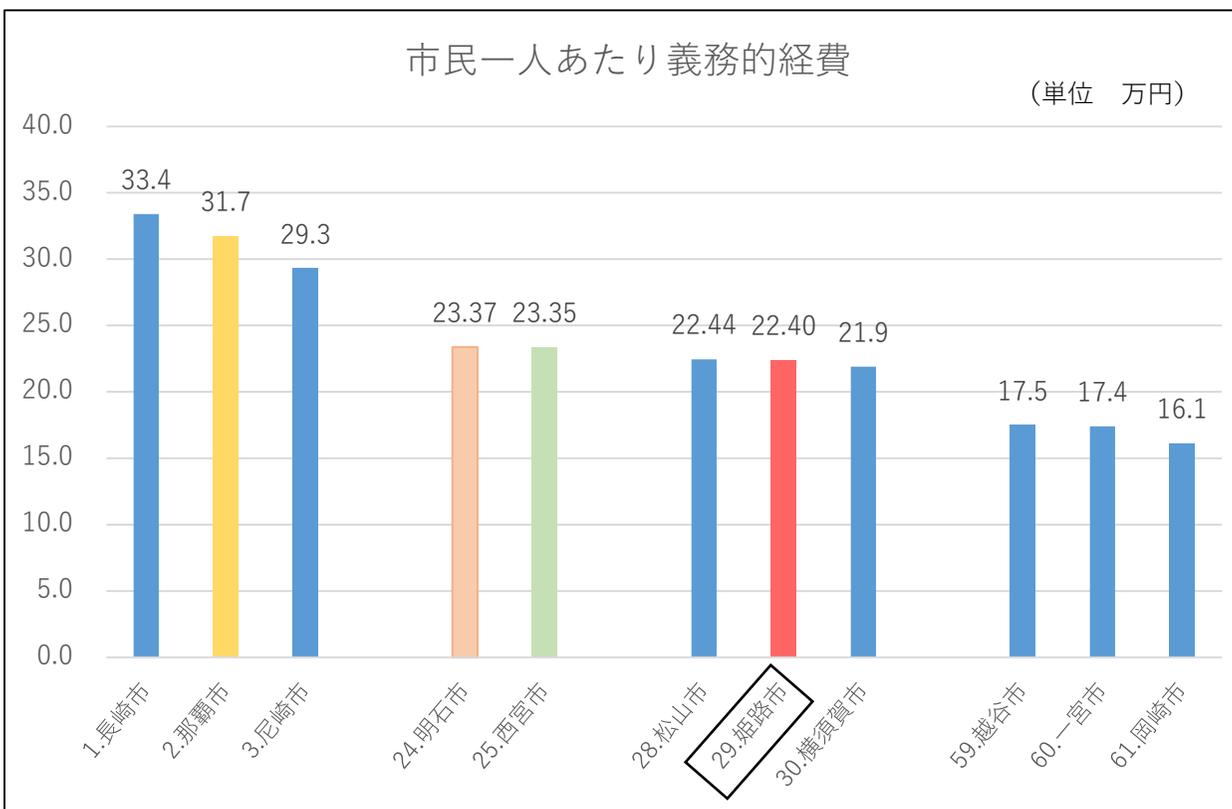
義務的経費予算額

1位	長崎市	33万4千円
2位	那覇市	31万7千円
3位	尼崎市	29万3千円
24位	明石市	23万3,700円
25位	西宮市	23万3,500円
29位	姫路市	22万4千円
59位	越谷市	17万5千円
60位	一宮市	17万4千円
61位	岡崎市	16万1千円

(1団体 未回答)

市民一人あたり義務的経費

(単位 万円)



市民一人あたり歳出
(性質別分類)
普通建設事業費

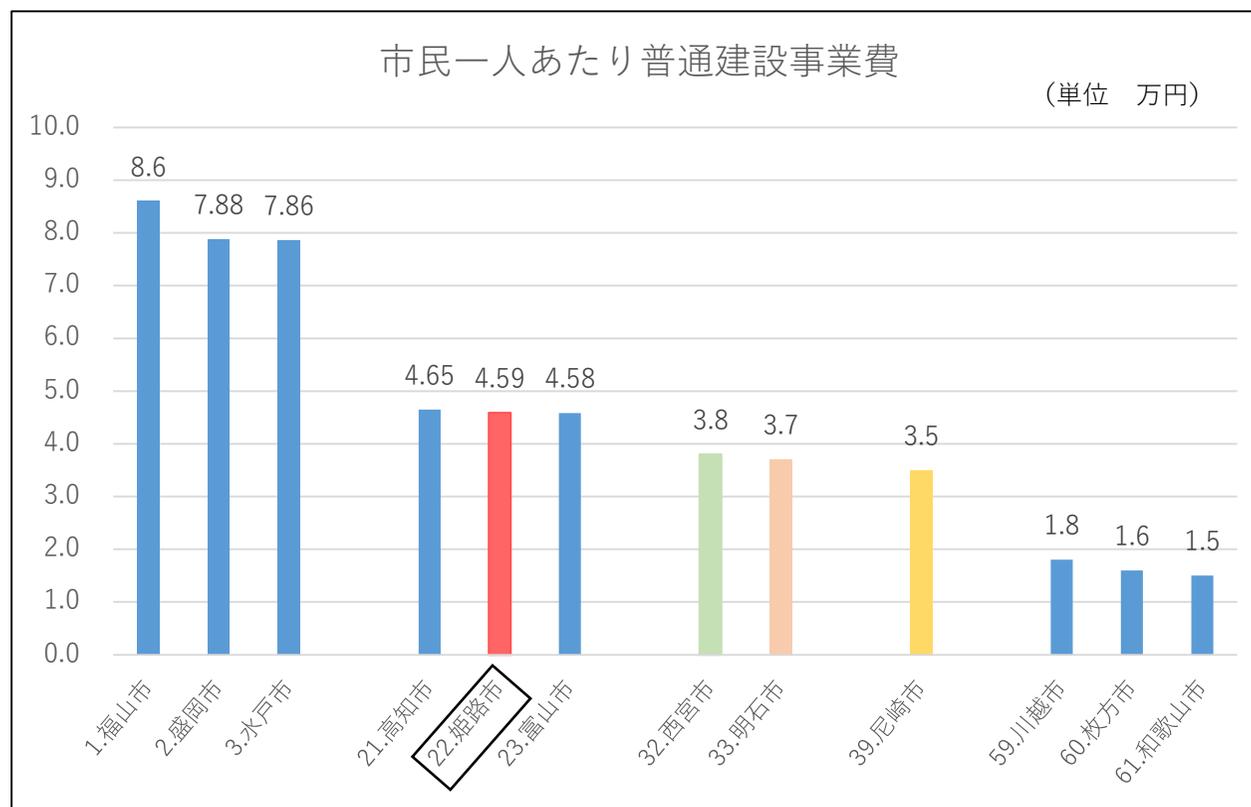
普通建設事業費とは、市民の皆さんに身近な道路・橋りょう、学校、庁舎などの整備に必要な経費のことです。

令和4年度の姫路市の市民一人あたりの普通建設事業費は約4万5,900円となっており、中核市62市中**第22位**で、中核市平均を上回っています。

普通建設事業費予算額

1位	福山市	8万6千円
2位	盛岡市	7万8,800円
3位	水戸市	7万8,600円
22位	姫路市	4万5,900円
32位	西宮市	3万8千円
33位	明石市	3万7千円
39位	尼崎市	3万5千円
59位	川越市	1万8千円
60位	枚方市	1万6千円
61位	和歌山市	1万5千円

(1団体 未回答)

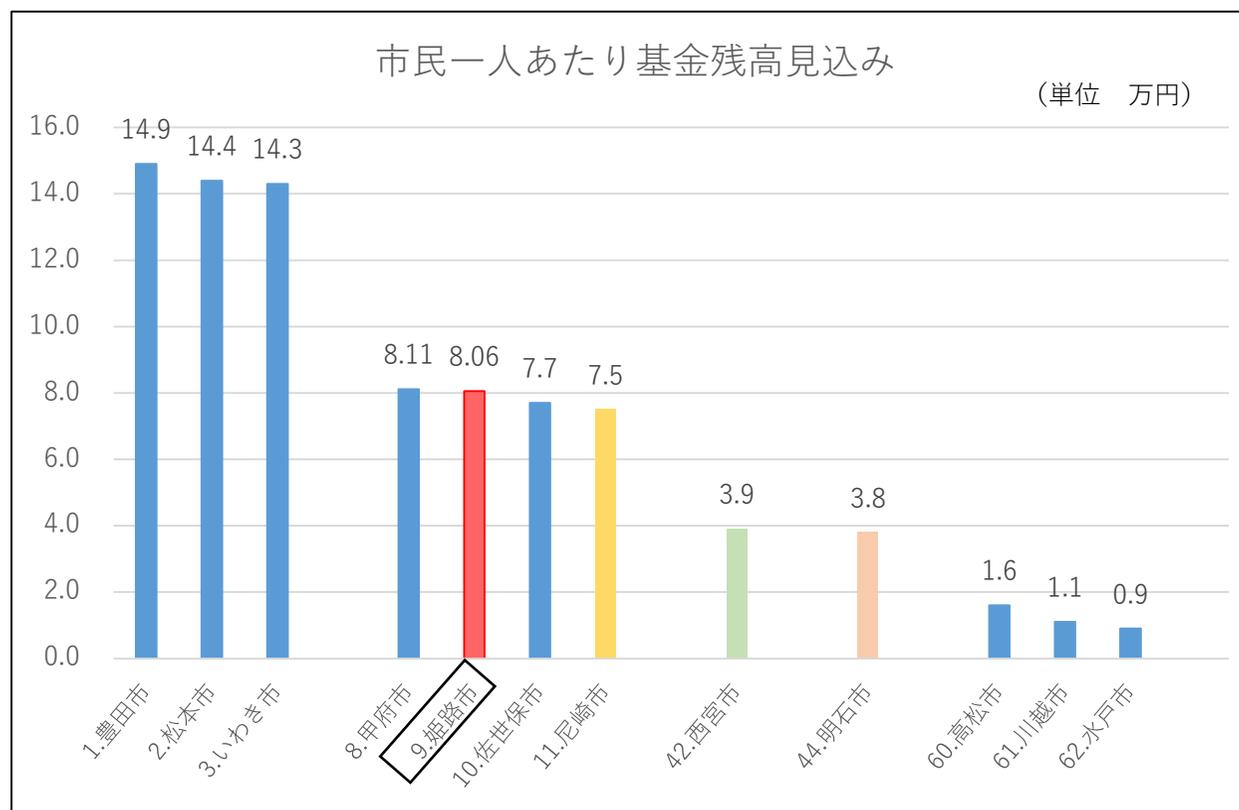


市民一人あたり 基金残高(一般会計)

基金は特定の目的や財源不足を補うために設けているものです。
令和4年度末見込みの姫路市の市民一人あたりの基金残高は**約8万600円**となっており、中核市62市中**第9位**で、中核市平均を上回っています。

基金残高見込み額

1位	豊田市	14万9千円
2位	松本市	14万4千円
3位	いわき市	14万3千円
9位	姫路市	8万600円
11位	尼崎市	7万5千円
42位	西宮市	3万9千円
44位	明石市	3万8千円
60位	高松市	1万6千円
61位	川越市	1万1千円
62位	水戸市	9千円



市民一人あたり 市債残高(一般会計)

市債残高見込み額

1位	長崎市	68万3千円
2位	高知市	64万4千円
3位	鳥取市	63万4千円
21位	尼崎市	44万4千円
32位	姫路市	39万6千円
34位	明石市	38万7千円
46位	西宮市	28万3千円
59位	高槻市	14万7千円
60位	豊田市	12万3千円
61位	奈良市	4万8千円

(1団体 未回答)

市債とは、年度を超えて借り入れる借金のことです。学校や道路など公共施設の建設に必要な費用を、その年度の収入だけでなく、お金を借りて賄っています。これらの施設は長期にわたり使用するため、借金を後年度に返済することで、将来の市民にも公平に負担してもらうことができます。

令和4年度末見込みの姫路市の市民一人あたりの市債残高は**約39万6千円**となっており、中核市62市中**第32位**で、平均的な水準となっています。

